

病弱教育の卒業生の進路

大学や専門学校に進学したり、就職したりします。

富山情報ビジネス専門学科
富山短期大学
石川障害者職業能力開発校
雄峰高等学校専攻科
就労継続支援 A 型事業所

富山国際大学
吉川医療福祉専門学校
国立障害者リハビリテーションセンター
富山デザイン・ビューティー専門学校

等

教育相談・入学までの手続き

【本校について知りたい場合】

- ・教育相談は随時実施しています。在籍している学校を通じてご連絡ください。
- ・学校見学（6月）…学校概要説明、学習参観及び施設見学、懇談会
- ・学習体験（9月、11月）…学校概要説明、学習参観及び施設見学、学習参加、懇談会

【入学を希望する場合】

- ・入学志願者は3月に入学検査を行います。志願の前に、入学者選抜のための教育相談を受けていただく必要があります。
- ・年度途中での転・編入学が可能です。転・編入学希望者は、事前に教育相談を実施し、指定の手続きにより、転・編入学検査を行います。

よくある質問

Q 学校に行っていないので、学習の遅れが心配です。

A 長期欠席による学習の空白や遅れを補いながら、高等学校に準じた教育を行います。

Q 学歴は「高等学校卒業」になりますか。

A 学歴としては「特別支援学校高等部卒業」となります。「高等学校卒業」となりませんが、大学受験資格を得ることができます。

本校へのアクセス

- 越中荏原駅より徒歩 12 分
- 流杉スマート I. C より車で 10 分
- 立山 I. C より車で 15 分



学 校 案 内

本校高等部では、病弱教育を行っています。



あなたの学びたい気持ちを大切にします。

本校への入学に関する相談等は随時受け付けています。

在籍している学校を通じてご連絡ください。相談は無料です。



富山県立
富山視覚総合支援学校



TEL 076 (423) 8417

URL <http://www.shikaku-sh.tym.ed.jp/>

本校の特色

●本校は全国で唯一、病弱生徒と視覚障害幼児児童生徒が共に学ぶ特別支援学校です。

本校では、高等部に病弱生徒、幼稚部・小学部、中学部、高等部に視覚障害幼児児童生徒が在籍しています。一人一人の個性と能力を伸ばすとともに、共に学び、共に生活し、共に育ちあう教育を行っています。視覚障害のある生徒と共に部活動や学校行事を行い、協力して助け合う生徒の育成を目指しています。

●心や体の病気を治療しながら自宅から通って学ぶ学校です。

本校では、安心して安全な学習環境の中で学ぶことができるように家庭、医療と連携し、通学しながら安定した学校生活を目指しています。

●一人一人の病状の改善を図りながら、希望や特性に応じた進学や就職などの支援を行っています。

本校では、一人一人の病状や発達の段階、特性、学習空白の状態等に応じた学習指導を行っています。また、よりよい人間関係づくりを目指した自立活動を行っています。関係機関と連携を図り、進学や就職に向けた支援を行い、卒業後もアフターケアを計画的に行っています。

病弱教育の学科・定員

●**学 科 普通科** 全日制高等学校普通科と同様の教科書を使用し、準じた教育を行っています。

●**定 員 1 学年：8 名** 小集団の中で個別に応じた指導を行っています。

授業料は不要です。諸経費は集金しますが、家庭の経済状況に応じて就学奨励費の支給を受けることができます。

病弱教育の生徒の概要

入学できる生徒は？

- 慢性疾患や心身症のため継続して医療または生活規制が必要な生徒
- 視覚障害のある生徒とともに学校生活を送ることができる生徒
- 自宅から通学できる生徒

●発達障害の生徒は対象？

発達障害の子供は、それだけでは特別支援学校（病弱）の対象ではない。学習障害や注意欠陥多動性障害の子供は、（中略）成長とともにうつ病や強迫性障害、適応障害、統合失調症等の精神疾患の症状が顕在化し、在学中に診断名が付け加わったり変化したりすることもある。このような状態の子供の中には、特別支援学校（病弱）で学習することが必要となることもある。

【「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～（文部科学省）」より抜粋】

本校の様子

視覚障害生徒との宿泊学習
（中・高等部）



授業の様子
（高等部 自立活動）



視覚障害幼児児童生徒との
全校で行う運動会



<年間行事>

1 学期

始業式、入学式、生徒会選挙、運動会、1 学期考査、修学旅行、生徒総会、終業式

2 学期

始業式、中間考査、学習発表会、校外学習、2 学期考査、終業式

3 学期

始業式、学年末考査、卒業式、修了式

※部活動は視覚障害の生徒と共に運動部と文化部に分かれて活動します。

病弱教育の卒業生や保護者の声

たくさんの思い出がありますが、特に印象に残っているのは、1 年時の宿泊学習です。司会を務めたクイズ大会や、夜に男子部屋でしたカードゲームなどが良い思い出となり、今でも昨日のこのように思い出します。この学校は少人数で静かな環境であり、人と関わった経験が少ない私にとって、とても有難い場所でした。卒業した今となって、先生方の優しさや配慮が少しずつ分かり始め、感謝せざるを得ません。ここでの3年間は、自分自身とても成長を感じており、大変有意義な3年間でした。

（卒業生）

静かで自分のペースで学べる環境は、息子を日に日に明るく元気にし、楽しく通う様子を見て家族も安心して見送ることができました。いつも楽しい先生方は、進学の時には真剣に相談に乗って助けてくださったり、卒業した今でも優しく気にかけて支えてくださったりします。共に笑い共に悩んでくださった方々との出会いはかけがえのない宝物のようです。短く楽しかった高校は卒業したくないほどのようでした。3年間、本当にありがとうございました。

（卒業生保護者）

